

約半数の割合で野菜は国産購入**ジーコム**

市場調査、マーケティングなどを手掛ける株式会社ジーコム（福岡市博多区古門戸町、村上隆英社長）の食の安全、安心に関する調査では、国産しか買わない割合は野菜で約半数、果物、魚肉については3割未満ということが分かった。

調査は福岡県在住の20歳以上の男女472人を対象に10月1日から5日までインタ

ネットを実施し、男女別、世代別で構成。国産しか買わない割合は48.6%で、果物（22.8%）、魚（24.7%）、肉（29.3%）で3割未満となった。外国産を買うこともある割合については、野菜が34.7%だった一方、果物（58.3%）、魚（56.6%）、肉（52.7%）の3項目は5割を超えた。また、生鮮食品購入時の注意点は、野菜、果物、魚、肉の4項目すべてで20代が価格、30代は産地、60代以上が旬のものであることを重視する割合が他の年代と比較して高かった。

調査レポートは全12ページで、同社では社員派遣による同調査結果レポートの説明も実施している。